探究ラボ



16 Personalities とバーナム効果の関係

大阪府立四條畷高等学校

研究背景

MBTIと同一の診断であると誤解されて いる16Personalities[1]は多くの人に利 用されている[2]。短い時間で手軽にで きる診断をなぜ人々は利用するのか、 疑問に感じた。

仮説

16Personalitiesは<mark>パーナム効果</mark>*によって信頼されているのではないか。

※バーナム効果 とは

あいまいで意味のとりにくい表現を用いた、誰にでも当てはまるような一般的な記 述を、自分に当てはまっていると思ってしまう現象[3]。

予備調査 16Personalitiesについて5件法で調査

質問)あなたは16Personalitiesの内容が自分の性質と一致していると思いますか。(総数 163件)

- ・とてもそう思う、ややそう思うが 合計87%を超えている[4]。
- ・平均値が4.06であった。



16Personalitiesは四條畷高校生 に一定の信頼を得ている

先行研究

フォアラの実験:心理学者のバートラム・フォアラ(Forer.1949)は39名の心理学受講者に性格検査を実施し、1週間後に結 果を知らせた。性格検査の結果は、新聞や雑誌の占星術の本から抜き出した、誰にでも当てはまるような13の文章を並べ たもので、学生全員にまったく同じ結果が配布された。性格検査の結果がどの程度当てはまっているかを学生に評価させ た結果、平均10の文章が正しいとされ、5つの文章しか自分に当てはまらないと答えた学生はたった1人であった[3]。

研究手法

- ①偽の研究内容を伝え、被験者29名を集めた。
- ②16Personalitiesの問題文を参考に作成した問題[5] を配布し、回答してもらった。 (総問題数 60問)
- ③被験者全員に同一の診断文*を配布した。
- ④診断文が自分にどれだけ当てはまっているのか を一文ずつ五件法で回答してもらった (Forer.1949)^[6]。

※同一の診断文(総問題数 16問/自由記述欄あり)

→16Personalitiesの各診断結果からランダムで 引用した。

結果

①診断文ごとの平均値

4.2以上 → 2問 最大値 \rightarrow 4.4 (7) →14問 4.2未満 最小値 \rightarrow 2.6 (11)

全診断文の平均値 →3.5

②個人ごとの平均値

全診断文の平均値が最も高い人 →4.5 平均値が最も低い人 →2.6

③自由記述欄

16Personalitiesとの関連を記述している人の 平均値は、そうでない人の平均値(3.6)と比べ 全体のスコア(3.3)が低かった。

	診断文	平均值	
	(1)	3.6	
	(2)	3.6	
	(3)	4.0	
	(4)	2.7	
	(5)	3.9	
	(6)	3.3	
	(7)	4.4	
	(8)	3.8	
	(9)	3.0	
)	(10)	4.1	
	(11)	2.6	
	(12)	2.8	
	(13)	3.8	
	(14)	4.3	
	(15)	3.1	
	(16)	3.2	

結	果	の算	第出	出方	法
---	---	----	----	----	---

①各診断文ごとに平均値を求め、バーナム効果が働いていると いわれる基準「4.2」以上(Forer.1949)^[6]とそれ未満の項目の 個数を調べる。

また、平均値の最大値と最小値を求める。

②各被験者ごとの診断結果全文に対する平均値の最大値と最小 値を求める。

診断文の詳細は配布したプリントに掲載

考察

- ①・全体の平均値が4.2を越えなかったため、 16Personalitiesはバーナム効果によって信頼され ていると断定できない。
 - ・平均値が4.2に近かったものは推量の助動詞を用い ているものが多い傾向にあった。
- ②個人ごとの値のばらつきが 結果に影響したのではないか。
- ③16Personalitiesを参考に作成していると気づいたか が結果に影響したのではないか。

今の課題・今後の予定

- ・研究手法が適切であったかを検討し、16Personalitiesの利用されている理由を明らかにする。
- ・心理学の尺度の測り方などの知見を深める。
- ・16Personalitiesと他の性格診断との相違点、共通点からバーナム効果の引き起こされるメカニズムを調べる。

参考文献 引用文献

| [1]|MBTIとは| 【公式】日本MBTI協会 .https://www.mbti.or.jp/what/(参照 2025-09-09) . |2]|小塩 真司 (2025). 『性格診断プームを問う 心理学からの警鐘』. 岩波書店.

[3]付土主義 コードン (1947): 「主義をは、正統権権があった。 [4]横内光子 (2007): 「心理測定尺度の基本的理解」『日本集中治療医学会雑誌』14,(4), 555-561. [5]NERIS Analytics Limited (2011).「16Personalities」. https://www.16personalities.com/ja (参照 2025-09-09) . [6]Bertram Forer. (1949). An Experimental Demonstration of the Barnum Effect. The Journal of Abnormal and Social Psychology, 44(1), 118–123.